



白山市発達相談センターとは…

白山市では、発達障害などで乳幼児期や学齢期のお子さんの発達について悩んでいる保護者の方をはじめ、就労や人間関係などでつまずきを抱えている方の相談に応じ、保健・教育・福祉・就労・医療関係部署と連携を図りながら、発達障害の早期発見と継続かつ一貫した支援を行っています。

それぞれのライフステージ（年齢）に合った支援をするための体制整備や取り組みの充実を図り、一人一人が安心して生活できることを願いながら進めています。

この「おたより」には、発達相談センター主催の講演会の内容について、主に掲載しています。ぜひ、この機会にご覧いただきお役立てください！！

5月

特別講演会「発達障害のある子の自立の準備

～将来を見据えて今、幼児期・学齢期にできること～

講師 愛知県心身障害者コロニー中央病院 児童精神科 医長 吉川 徹 氏

内容 これまで、児童精神科として1,000人以上の発達障害の子を診てきた吉川先生をお招きし、発達に気がかりな子が、将来どんな大人になっているか、「自立できる子ではなく、自立したいと自ら思う子、自由な人生を送っている子である」と将来を見据え、大人になった時を評価のポイントに逆算して、幼児期や学齢期にできることは何か、今（その時）行う支援について、具体例を交えてお話しいただきました。特に、①目標②評価③支援の方法が一貫していることが大事であり、なるべく傷をためずに力を伸ばす支援を地域全体でライフステージを通じて繋ごうという先生の教えは、日頃、現在の課題に重点が置かれがちな視点を改める好機となったようです。

また、発達障害について理解を深めるための啓発展示や発達障害を公表している著名人のコーナーなども設け、発達障害の著名なピアニストとしてご活躍の「野田あすか」さんをCDで紹介しました。



参加者の声（保護者）

- ✕力を伸ばしていくことの具体例が分かりやすかった。
- ✕実生活でこじれた自閉症の子や大人への支援法を具体的に教えてもらい、自分も実践したい。

参加者の声（支援者）

- ✕力を伸ばしていくこと、傷をためていかないこと。幼児期のことが大人までつながるため、いやなことをためず良いところを伸ばしていきたい。
- ✕大人になってからのイメージをもつことについて、今まであまり考えたことがなかった、今後、心がけていきたい。自分で選ぶ経験の積み重ねができる環境を作っていきたい。
- ✕発達障害だけでなく、その他の子どもたちを保育するヒントを学ぶことができた。「みんな一緒になくてよい」、集団生活の保育園でも人と比べず、一人一人のペースに合わせて保育していきたい。



⑨ (学齢期)気になる子ども達~どう受け止め、どう理解し、どう関わるか~

=作業療法士の観点から=

講師 キッズルームトマト 作業療法士 中川 等史(なかがわ ひとし)氏

内容 作業療法士の立場から、放課後等児童クラブ等支援者を対象に、

「気になる子どもの何が気になるのか？」について、①身体面、②学習面、③対人面、④情緒面、⑤行動面に分け、具体例を通じ、「なぜ気になるのか？」など、分かりやすく講演いただきました。



(例) ①身体面 手先が不器用の場合

◆手先が器用な子とは→→手に綺麗なアーチを作ることができる子、OKやVサインなど指をバラバラに使える子である。



手先に関する支援は

遊びや活動の中で親指側の3本と小指側の2本を別々に使う経験を重ねる。手のアーチを意識して使う。(遊びの例) じゃんけん遊び、ビー玉遊び、こままわし、折り紙等々の活動でできます。

参加者の声(支援者)

- ◎作業療法士の方の話を初めて聞いたが、とても具体的で分かりやすかった。子供たちの行動の理由・対策方法がこういうことだったのかと分かった。また聞きたいです。
- ◎具体的な対策を丁寧に話され、分かりやすかった。高学年になると、支援員の声になかなか耳を傾けてくれず、言葉の種類も豊富であり、「他人の気持ちが読めない」、そして友達が離れるがそれが「なぜなのか」分かっていない子の対応など勉強になりました。
- ◎支援グッズの話聞き、えんぴつをかむ子が私のクラブにもいるので、そのグッズを使いたいなあと思いました。タイマーや時間を決めてするなど聞いた事を試したいと思いました。



⑨ 就学サポート相談会「就学の流れについて」

講師 学校教育課 指導教育主事 山森 真紀 氏

内容 就学サポート相談会(5回シリーズ)の2回目でした。就学後の支援の内容(特別支援教育支援員、特別支援学級、通級指導教室、特別支援学校)説明や就学までのスケジュール、どのような準備が必要かなどについて、ご講義いただきました。

参加者の声

- ☞ 今後の就学決定までの予定が分かった。
- ☞ それぞれの特徴などがよく分かった。特別支援教育支援員の方がいらっしゃることなど知らなかったことがたくさんあり、勉強になった。
- ☞ 学校見学についての話が聞いて良かった。





7~8月

一般講演会「読み書き障害のある子どもたちの理解と学習支援について」

講師 金沢星稜大学人間科学部教授 河野俊寛（こうの としひろ）氏

内容 読み書き障害（ディスレクシア）について、実例をもとにその特性や支援方法について分かりやすく講演いただきました。



なかでも、読み書き障害の子が「自分ができなかったのは、努力不足ではないのだ」と早くに気づき、これまでできなかったことを本人や家族の責任にするのではなく、「社会モデル：社会こそが『障害（障壁）』をつくっており、それを取り除くのは社会の責務だ」という考え方を教えていただきました。そしてなるべく早くに代替支援を行い、読み書き障害のある子が、他の子と同じレベルになることを目標にするのではなく、知識を増やし、知識を使って考え、自分の考えを第三者に伝えることができることが最大目標であるとの教えは、参加者にとって、支援の根幹に気づく良い機会となりました。

参加者の声（保護者）

- ♥具体的なサポート（グッズ・行為）について、教えてもらい、すぐにでも本人の困難解消につなげていけると思った。
- ♥学校の先生に支援してほしいことを具体的に提案できる方法を学べた。
- ♥子どもに検査を進めたり、苦手を無理に克服する必要がないことを伝えたりすることを学べた。

参加者の声（支援者）

- ♥読み書きに困難な生徒に対する学習支援。スタートラインをそろえてあげることが意識して取り組みたい。
- ♥学校内の支援で、校内学習会を通じ、情報共有していきたい。保護者にもツールの紹介をしたいと思う。
- ♥支援員としての立場上、知識を積み重ねても担任の先生の指示で動くので、生かしてみたいと思うがなかなか実行できない。

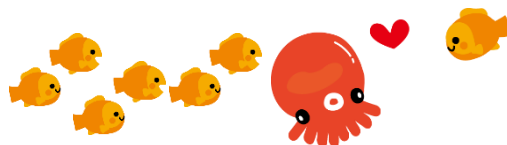
支援者向け研修会「事例者から見つめてみよう」

第1回 講師 日本ポーター協会 小坂 正栄氏

第2回 講師 特別明和支援学校 松川 真理子氏

対象者 保育士

内容 「気になる子」は「なぜ、そのような言動をするのか」「なぜこちらの思いが伝わらないのか」、その「なぜ」の部分を見つめるため有効な方法である事例検討をグループワーク形式で、学びました。また、講師から専門的なアドバイスをいただきました。



第1回 参加者の声

- ☆事例検討を通して、園でも客観的に一人一人の子どもを見つめる機会を持ちたいと思った。

★書面のない事例

検討に初めて参加した。文字にとらわれない分、話をしっかり聞くことができ、子どもが思い浮かぶようだった。充実した検討が出来たように思う。



第2回 参加者の声

- ◇身近な園児の姿に重ねながら「どう関わるべきか」を理解することができた。
- ◆こどもの行動ひとつひとつに理由があることを改めて考え直す機会となった。





【お知らせ】

① 発達障害映画「ぼくはうみがみたくありません」

日時 11月17日(金) 14:00~15:30 (無料・申し込み不要)

場所 白山市福祉ふれあいセンター2階視聴覚室

※ この映画は、知的を伴う自閉症の青年をもつ父親が、自閉症のことを周りの人に知ってほしいと願い、映画作品となりました。

どなたでも
参加できます!!

② 「ミュージック・ケア」 楽しめる音楽療法

日時 11月18日(土) 10:00~11:00

講師 日本ミュージック・ケア協会 認定指導者 吉田 茂樹氏

対象 幼児期・学齢期のお子さんとその保護者

場所 白山市福祉ふれあいセンター2階大会議室

※ 毎回、お子さんに合わせた楽しいプログラムで好評♪です。♪



③ 「基礎編 ADHD～医師の立場から」

日時 11月24日(金) 13:30~15:00

講師 公立松任石川中央病院精神科・神経科医師 武藤 宏平氏

対象 保護者(学齢期・青年期に関わる支援者等も参加可)

場所 白山市福祉ふれあいセンター2階大会議室

※ 昨年は、「発達障害の診断と薬物療法」についてご講演いただきましたが、分かりやすいと好評でした!

④ 「発達障害のある人の就労について」 講演&体験談

日時 平成30年1月20日(土) 13:30~15:30

講師 石川県発達障害支援センター 山下 いつみ氏

対象 保護者(学齢期のお子さん・学齢期・青年期に関わる支援者等も参加可)

場所 白山市福祉ふれあいセンター2階大会議室

※ 発達障害と診断を受けた方が就労につき、かつ、継続していくためには周囲のどのようなサポートが必要か、事例を通してお話しいたします。また、当事者の方の貴重な体験談も聴けます。

~お知らせ②③④講演会の参加申し込みについて~

お電話かFAXで、①お名前 ②ご連絡先 ③講演会に参加希望とご連絡ください。ぜひ、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



白山市発達相談センター

〒924-0865

石川県白山市倉光八丁目16番地1

Tel076-276-8819 Fax076-276-6291

白山市発達相談センターだよりは

白山市ホームページからダウンロードできます。



次回の発行は、
平成30年3月頃
だよ♪またね!